

## 道路行政セミナー2013年1月号 NO.052 2013年1月25日発行 ポイント

### ◆◆特集◆◆

#### ★第19回ITS世界会議ウィーン2012の概要 及び第20回ITS世界会議東京2013に向けた取組み★ (ITS世界会議東京2013日本組織委員会事務局)

「第19回ITS世界会議ウィーン2012」の内容報告と『Open ITS to the Next』をテーマにエネルギーマネジメント分野との連携、ネットワーク化社会における新たなビジネス機会の創出、レジリエントな交通社会の実現という新たなステージに入る交通社会の提示を目指す「第20回ITS世界会議東京2013」の準備状況を紹介します。

### ◆◆道路占用Q&A◆◆

#### ★太陽光発電設備等の道路占用許可対象物件の追加について①★ (国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

太陽光発電設備等の道路占用許可対象物件の追加について解説する。

### ◆◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◆

#### ★高速道路の道路管理用施設の緊急避難施設への活用について★ (国土交通省 中部地方整備局 紀勢国道事務所 調査設計課)

東日本大震災時において、津波を考慮して高台に計画された三陸縦貫自動車道が、住民避難場所や復旧のための緊急輸送路として機能した。

本取組みは、東海・東南海地震発生時に、津波被害が懸念されている東紀州沿岸地域で整備が進められている紀勢自動車道及び熊野尾鷲道路の道路管理用施設を、津波災害時の緊急避難施設としての機能を持たせた整備を行ったものです。

.....

### ★愛知県における道路路面穴ぼこ対策について★

(愛知県 建設部 道路維持課)

愛知県では、道路路面の穴ぼこを起因とした痛ましい事故を反省材料として、路面の維持管理について、異常箇所を早期発見・早期対処やシステムの活用によるデータの蓄積・業務の効率化など迅速かつ適切に対応するための取り組みを行っており、これらの取り組みについて報告します。

.....

### ★豊田市の道路管理★

～「道路のパトロール強化」及び「応急処置対応の迅速化」～

(愛知県 豊田市 建設部 道路維持課)

道路の維持管理は、日々変化する道路状態をいかに早く把握し修繕するかが重要です。対応手法としては、道路パトロールと応急の修繕業務が主体であるが、確実性と緊急性が求められ、いかにそのギャップを埋めるか、現在の取り組み状況を紹介します。

---

### ◆◆お知らせ◆◆

★平成25年度「道路ふれあい月間」推進標語を募集します！★

(国土交通省 道路局 道路交通管理課)

国土交通省では、毎年8月を「ふれあい月間」として、道路の正しい利用や道路愛護活動の推進に努めていますが、この一環として、平成25年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集します。

## ◆◆編集後記◆◆

新しい年を迎え、初めて書を書く行事“書初め”。

本来、1月2日に行うもので、吉書（きっしょ）、試ふで（ためしふで）、初硯（はつすずり）ともいいます。

室町時代から始まったならわしで、歳神様のいる縁起の良いとされる方向（恵方）に向かって、「寿」や「福」などのめでたい言葉や詩歌が書かれていました。書が必須教養のひとつだった時代には、人々はこぞって練習に励み、その年の最初に手がける書には特別な思い入れがあったとのこと。書初めたものは、しめ飾り等を焼く「左義長（さぎちょう）」と呼ばれる火祭り行事で燃やし、その際に紙が高く舞い上がると字が上達すると言われていることから、1月2日は「稽古初め」とも呼ばれ、この日に習い事を始めると腕が上がるといわれています。

パソコンやスマートフォンの普及によって、手書きで文字を書くことがめっきり少なくなりました。さらに毛筆となると、その機会はほとんどなく、毛筆による記名を求められると、きちんと習得しておくべきだったと後悔することもしばしば。

近頃、日本の伝統文化である書道が習い事として見直されているようです。ボールペン字と比べ、筆で書く文字は、墨の濃淡やとめ・はねなどによって様々な表情を見せ、温もりを感じるとともに、さらに、筆使いを学ぶことで綺麗な文字の上達に役立ちます。また、墨をすり、姿勢を正し、心を落ち着かせてゆっくりと丁寧に書くことが、癒しとなっているようです。

「字は人を表す」

美しい文字は、その人となりを表すといわれています。言葉を伝えるだけでなく、心を伝えられる文字が書けるよう心がけたいと思います。

本年も道路行政セミナーをご愛読いただけますようお願いいたします。（K）